

2019年度 ル・ソラリオン名和 事業計画

ル・ソラリオン名和

1. 施設理念

ご利用者の皆様を、一人の生活者として尊重し、ご家族と共に適切な支援を行います。

2. 施設方針

- (1) 認知症になっても安心して生活できるように支援します。
- (2) コンプライアンスを徹底し、健全な施設運営を実施します。
- (3) 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの一翼を担います。
- (4) チームの一員として共に支えあい、働きやすい職場環境を構築します。

3. 実施事業

- | | |
|-------------------------------|-----------|
| (1) 介護老人福祉施設 | 定員 70 名 |
| (2) ショートステイ（介護予防含む） | 定員 18 名 |
| (3) 障害者短期入所事業 | （上記定員に含む） |
| (4) ケアハウス | 定員 15 名 |
| (5) 通所介護サービス | 定員 30 名 |
| ・ 大山町介護予防・日常生活総合事業（通所型サービス） | （定員に含む） |
| (6) 大山町介護予防・日常生活総合事業（元気アップ教室） | 定員 14 名 |
| ・ 介護認定非該当者対象事業（元気道場） | （定員に含む） |
| (7) 居宅介護支援センター | |
| (8) 認知症対応型共同生活介護（グループホーム） | 定員 18 名 |

4. 重点目標

抱負・目標 開設 20 年を経過した地域の介護拠点として、地域高齢者の介護予防から、要支援や要介護者へのサービス提供、ターミナル期まで、地域住民に信頼されるとともに、関連施設・医療機関との効果的連携により健全な運営を実施する。

(1) 利用者へのサービス提供

- ① 認知症ケアの改善に取り組み、BPSD を緩和する。
 - ・ アセスメントシートを活用した事例検討とケア改善の継続実施。
- ② 自立支援に向けた役割・能力の再発見～生きる喜びを共に感じるケアの実施～
 - ・ サービスにおいて利用者の選択肢を増やす。
 - ・ リハビリ専門職との連携を強化し、能力評価を基にした効果的ケア実施。
 - ・ 誤嚥予防と適切な食形態の提供。

③ターミナルケアに向けた、ケアのスキルアップと家族との協働

④地域高齢者の権利擁護の推進

- ・低所得者や身寄りのない人等への専門的総合支援を行う。

(2) 施設・設備管理

①災害リスク対策の確実な実施。

- ・施設内・地元地域・西部地区関連施設との連携
- ・地震・火災・台風・大雪等に伴うリスク予防対応の確認

②計画的な設備・備品点検・修繕管理と不具合時の即時対応を行う。

- ・環境チェックにより早期発見と対応実施

(3) 施設管理

①現場で想定されるリスク（事故・感染・苦情）の予防・対応管理の徹底。

(4) 職員管理

①専門スキルの向上～効果的な研修実施と他施設間交流

- ・実践力に繋げる施設内研修の実施
- ・他施設実習の計画的実施とフィードバックの取組

②腰痛予防のための介護スキルアップ

(5) 経営管理

①利用者ニーズに迅速な対応が出来るよう、事業所間の連携を強化する。

②収支予算の適正管理。

③介護保険各種加算等に対応した運営。

(6) 地域との連携

①地域住民の介護予防や認知症の人を支える地域づくりの取組実施。

「心と身体の健康の集い」「オレンジカフェ」「施設交流会」

②開設 20 周年としての地域をからめたイベント開催。